

令和5年度 第1回 城陽市立東部デイサービスセンター運営推進会議 会議録

日時：令和5年9月29日（金） 14：00～15：00

場所：城陽市立東部デイサービスセンター 2階 相談室

資料：資料(活動状況報告、事故及びヒヤリハット事故及び改善状況の報告)

出席者（委員）：ご利用者家族 1名
地域住民の代表 1名
行政機関等職員 2名
（事務局）：事業所職員 2名

【議題】

事務局：活動状況報告、事故及びヒヤリハット事故及び改善状況の報告

資料(活動状況報告、事故及びヒヤリハット事故及び改善状況の報告)に基づき説明

- ・事業概要、介護保険所業の運営及び活動状況について資料に添って報告を行う。

事務局：前回から大きな変更点は営業日について、元旦のみの休業だったが今年から12月31～1月3日休業に変更。職員配置について令和5年4月から定着しており、退職者はなしの状況。働きやすい環境作りに努めている。令和5年2月から70%台と稼働率が低下傾向。その要因としては令和4年10月の新型コロナウイルスの影響で営業を中止したりといった状況が続いたためと分析している。6月～7月にかけて新規のご利用者が増え、現在徐々に稼働が上がってきている。前年度と比較して、軽度のご利用者が増えている。今現在は若年性認知症の方のご利用はなし。新型コロナウイルスに対する取り組みについて、5月に5類に移行してからの取り組み、感染対策の変更点を資料に沿って説明を行う。ボランティアの受け入れも再開している。実習生の受け入れについてはコロナ禍で中止していたが再開している。

【質疑応答】

委員：コロナですがだいぶ緩和はされてきてますが、まだ感染の方は多い状況。事業所でのコロナの感染状況はどうですか？

事務局：現在のところご利用者の感染はありませんが、ご家族が感染されデイサービスをお休みされる状況になってしまわれ、自宅にて過ごす時間が多くなり認知症が進行されるといったこともありました。利用開始前に抗原検査を実施させていただいたりといった対応をさせていただいています。

委員：東中学校圏域の利用をどんどん広げていかれたらいいと思います。施設の周知にもなると思います。

事務局：城陽市に認知デイが3つあります。(リエゾン萌木の村、保和団邸、東部デイサービスセンター)それぞれの施設の特徴、特性あると思います。馴染みのある地域の通いの場として城陽市の中でも北部、中部、南部の地域に認知症対応型通所介護があります。ご利用者の自宅が出来るだけ近いと送迎の時間短縮になり、生産性も向上しています。そのように送迎時間を短縮することで施設で職員がご利用者と関わりを持つ時間が増えるといったメリットも

感じています。

《事前意見書より》

(事業概要、介護保険所業の運営及び活動状況について)
了解致しました。

(新型コロナウイルスに対する取り組み・影響について)

新型コロナが現在第9波との事で感染が拡大している模様です。同時にインフルエンザ感染者も増加(高校生)しているとの事。まだまだ暑い日が続く「熱中症」の懸念も。私共も対策強化しなければと思っています。

・令和5年2月～令和5年7月末までの活動報告と研修及び委員会活動等実施について資料に添って順に報告を行う。

事務局：SNS「Instagram」を開始してご家族のお孫さん世代にも見ていただけている。地域活動「ふくひま」の取り組みについて、ひまわりを育てて開花したが8月の台風で倒れてしまった。種は採取でき、今後は採取した種を福島県に種を送り返す準備を行っている。福島県に送った種は、福島県のひまわり畑のガソリンに変わったりと上手く活用され、SDGsに繋がる取り組みとなっている。9月家族懇談会開催。参加されたご家族は、長年ご利用いただいているご家族と最近ご利用を開始されたご家族と半々の参加となった。長年介護をされている方の経験談やお話を聞かれ、アドバイスや思いを共有していただけて、有意義な会となった。次回は12月を予定している。

地域交流では芽生え幼稚園との交流を今年度も継続して実施先日、敬老の日に園児たちからのビデオレターを幼稚園教諭の先生が届けてくださった。研修については、新型コロナウイルスが5類に移行後、実開催が再開しているが、まだ動画研修の方が多い状態。

記載している事故発生状況は去年が交通事故が5件、今年に入って9月までで4件発生している状況。事故が多発している為、城陽警察に依頼をし、安全についてと城陽市の危険個所についての研修を城陽警察交通課に依頼し実施。

【質疑応答】

委員：芽生え幼稚園との交流は、地域と関わるといったとてもいい取り組みだと思います。雑巾も完成後に隣の学校に贈与されるとのことで、地域の方々に「ここにこんな施設あるよ」といったことが分かってもらえる取り組みだと思います。

事務局：ご利用者の役割活動の幅を広げ地域との交流ができる取り組みとして、非常勤職員のお子さんが通っている学校ということもあり久世小学校と交流を予定しています。

委員：スタートラインはそういった事も必要だと思います。それを今後も継続していくことが大事なかなと思います。交流先の行事等もあると思うので、前もってこちら(東部)の計画や予定を伝えておくのもいいと思います。

事務局：そうですね。ご意見有難うございます。

委員：ひまわりの種は小学校に持っていったりできないのですか？

事務局：「ふくひま」はもともと福島県が何年か前から始められた取り組みで色んな全国で施設が参加されているそうです。違う形で持っていければいいですね。

委員：今後も継続して取り組まれて、またそういった活動も広げていかれたらいいですね。

事務局：そうですね。有難うございます。

委員：施設の階段に城陽市内の道路の危険個所の地図が掲示してあり、可視化することで注意喚起を行うことが研修の成果でもあると思います。

事務局：掲示についてですが、交通安全委員会で城陽市の中でどんな危険個所があるか、一度職員で考えてみようといったことから始まりました。危険個所を振り返り可視化することで、全職員が共通認識を持つことを目指す為、今年度から掲示する事にしました。

《事前意見書より》

(行事等実施状況について)

毎月お送り頂いている広報誌「かけはし」を拝見し、ご利用者の状況が把握できています。また、日頃活動されている状況も把握できると感心しています。今後も発信よろしく願いいたします。

(職員に対する研修および委員会活動等実施状況について)

良く検討され実施されていると思います。

- ・事故及びヒヤリはっと事故及び改善状況の報告を資料に沿って行う。

事務局：認知症の進行により、ご利用者が貼布していた絆創膏、ガーゼ等を異食されていたこともある。そういったところも注意して対応させていただいている。

【質疑応答】

委員：足の爪の処置間違いの事故とは？

事務局：苦情になるのですが、今現在は処置の指示がなくなった為再発防止対策はあげていません。本来するべきを処置をせずに忘れてしまい、ご家族からご連絡をいただいたといった件です。今現在は処置は行っていませんが、職員間での引継ぎができていなかったといった事に対しては対策は今後も必要と思っています。

《事前意見書より》

(事故及びヒヤリはっと事故及び改善状況の報告について)

改善状況のご報告をお聞かせ願えればと思います。

- ・防災関係・介護体験等実習の受け入れ状況について資料に沿って報告を行う。

(事務局より)

非難訓練について前回の運営会議にて委員の方よりご意見いただいた「事前案内」についてですが、避難訓練実施時の近隣周辺への案内を事前に行ったが、訓練当日の気温がとて高く近隣住民の方の参加はなし。今後、実施時期を検討するべきといった反省点ができた。消防職員立会い

のもと訓練を実施し、施設の設備について2階のアナウンスがハウリングしていると指摘を頂いた。現在見積を出して修理予定となっている。

【質疑応答】

委員：実習生は介護職を目指してこられるのですか？

事務局：教員免許の取得を目指しての学生が対象です。5日間の受け入れをしています。直接的な介護はしてもらいませんが、お茶を出したりご利用者とコミュニケーションをとっていただいています。

委員：介護業界に興味を持ってもらえることはありますか？

事務局：時々、社会福祉士学部の方も受け入れていますが、ほぼ教員を目指す学生が来られています。

委員：若い子たちに介護の事を知ってもらえる機会になりますね。

事務局：そうですね。教員を目指している学生たちなのでしっかりされている傾向です。そして若い学生たちはご利用者からも人気です。

委員：災害が起こった時に東部デパートセンターは閉鎖ということになるんですよね？

事務局：通所施設ですので通いの場となるので、営業の必要性があまりないということになります。

委員：そうですね。城陽市の中には7か所くらい福祉避難所があると思いますが、そこは宿泊できる施設なんですね。こういった施設があるのに閉鎖してしまうのはもったいないですね。将来的に、施設や人材確保ができるのであれば活用できればいいですね。

事務局：ご意見ありがとうございます。今この周辺の避難場所は久世小学校とコミセンですね。当センターは該当しておりません。事業継続計画を立てており、通所は継続できないといった判断になっていますが、サービスを継続するにあたっての人員数、人員体制による可能なサービスを想定しておかなければと思っています。消防団の方との協力であったりと必要と感じています。

委員：常日頃の交流がそういった時(災害時)繋がってくると思います。様々な所との交流を深めていってはどうか。でも日々の業務を行いながらとなると難しいと思います。

事務局：そうですね。ありがとうございます。

《事前意見書より》

(介護体験等実習の受け入れ状況について)

久世社協でも実習生(大学生)を受け入れる予定です。よく検討され実施されていると思います。

【その他の質疑応答】

委員：利用についてですが、体験まではいかないが見学だけでも受け入れはされていますか？

事務局：受け入れしております。施設を見学していただきご案内させて頂いています。施設に来られない方には施設の紹介動画をご用意しています。予防の方が多いですか？

委員：予防の方の需要が多いです。待ち状況はありますか？

事務局：今現在、待ちがあります。一時期、稼働率が下がっていた時は待ち状態はなかったのですが。現在、待っていただいている方が3名ほどおられます。一般型の方は空いている曜日もある状況です。

委員：施設紹介動画や書面での広報紙「かけはし」での情報発信もいいけど、やはり実際直接お話しして不安を解消されたりするのがいいかもしれませんね。

事務局：そうですね。家族懇談会などで生の声を聴けるのはありがたいです。

委員：母がショートステイを定期的にご利用しているが、いつもショートステイから帰ってくるとショートステイでは身体を動かす機会がないのでいつもより動きにくい状態になっていることが多くて。そしてまたデイサービスに一週間ほど通ってようやく状態が戻ってきます。

事務局：そうですね。ご本人の体力的な所と、ご家族の介護負担軽減をショートステイとデイサービスを上手く組み合わせてご利用されていますね。今後ともよろしく願いいたします。

・閉会の挨拶

事務局：お忙しい中、本当にありがとうございました。次回は来年(令和6年)の2月頃開催予定をしております。よろしく願い致します。

・その他

・急遽欠席となった委員に、運営推進会議終了後に架電。

地域との関わりの中で、地域の行事等に入れていただく行事等はないかを伺うと消防団は平日訓練もやっている。出初式は木津川運動公園を使って地域の人も来られる。また、消防署内の見学等も消防団を通じて行っているそう。また詳しい事は調べて後日連絡しますとのこと。1月第2日曜日に消防団の大会がある。(全国大会)小学校の運動場等を使ってその大会に向けての様子を見学できます。

以上